



講演をされている木原真副理事長

礎の石孤児院 ファミリーホーム開設 ニュースレター



国内における児童養護の働きに、皆様方の温かいご支援・ご協力を賜り誠に感謝申し上げます。

今年も桜ヶ丘中学高等学校様(東京都)より、礎の石孤児院東京事務局へのご依頼があり、木原真(きはらまこと)副理事長が招かれ、6月4日、高校の体育館にて高校3年生を対象に礎の石孤児院の講演会が行われました。約40分間のお時間をいただき、副理事長より国内外での礎の石孤児院の活動報告と、さらに支援のアピールをさせていただきました。講演会主催のグローバル課の担当の皆様へ、この場をお借りしてお礼を申し上げます、誠にありがとうございました。

前年度はコロナのため、3年生の半数が体育館で、残りの半数は生配信を観て講演会に参加するという形で行われましたが、今回は3年生全員が体育館に集合し、3年ぶりに約300名の生徒たちと対面し、講演をする事が出来ました。

講演ではカンボジア孤児院の子どもたちについて、開発途上国の現状を初めて聞き、想像を遥かに超える厳しい環境で育ってきた彼らは一人一人が愛される存在であるとの事を聞いて、とても感動したとの感想が多数の生徒より寄せられていました。講演後は個別の質問タイムが設けられ、各国の福祉関係について多くの生徒から質問が飛んだり、ある生徒は将来の事について真剣に木原副理事長に相談する様子もあったとのことでした。また、控え室には8年前に木原副理事長の講演を聞いて感動し、著書にサインをもらったという方がサプライズでいらしていたり、校長先生からも丁寧に御礼をいただき、これからも継続して講演をお願いしたいとの事でした。ほんとうに感謝致します。

さらに変わらぬ御支援、御協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

礎の石孤児院 総主事 真境名 歩

ファミリーホーム開設支援のお願い

2011年3月11日の東日本大震災は、東北地方を中心に日本社会に甚大な被害を及ぼしましたが、礎の石孤児院として、被災地でのファミリーホーム設立を支援いたしました。

さらに礎の石孤児院は、国内での活動の幅を全国規模に広げ、展開していく方向で動いております。益々のご支援をより一層お願い申し上げます。

*ファミリーホームとは

「要保護児童」(保護者のない児童又は保護者に監護させることが不適正であると認められる児童)の養育に関し、里親など相当の経験を有する者やその他の厚生労働省令で定める者の住居において養育を行う事業をいう。
(小規模住居型児童養育事業)(受入児童は最終的には5・6人となります)

活動実績

福島県郡山市ファミリーホーム「アーモンドの枝」の地積703㎡(212.65坪)
の土地総取得費36,396,079円(2013年3月～2014年6月)、
総工費41,052,945円(2015年4月～2016年7月)を社会福祉法人「からし種の会」へ寄付。

日本でのファミリーホーム開設支援 会計報告 2022年5月

用途指定寄付金	前月繰越金	収入	支出	次月繰越金
日本ファミリーホーム開設支援基金	¥9,527,370	¥99,000	¥27,440	¥9,598,930

支援金送付先

【銀行振込口座】みずほ銀行 五反田支店

口座番号 普通 2915961

口座名 特定非営利活動法人礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

口座番号 00120-5-417839

加入者名 特定非営利活動法人礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため



礎の石孤児院ではPayPal(ペイパル)を利用し、クレジットカードで寄付ができるようになりました。詳しくはホームページをご覧ください。

ファミリーホーム
開設支援窓口

認定NPO法人 礎の石孤児院 東京事務局

〒141-0031東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزビル岩崎201

TEL 03-5740-8814 FAX 03-5740-8817

E-mail ishizue@athena.ocn.ne.jp

WEBサイト <http://www.cornerstone.or.jp/>



礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。